



福井県における在宅医療関連施策の概況

平成26年3月

福井県健康福祉部長寿福祉課

第6次福井県医療計画における施策の基本的方向

施策の基本的方向

1 在宅医療推進体制の整備

医療と介護の連携強化

2 在宅医療環境の整備

(1) 在宅医療のバックアップ体制の充実

(2) 訪問看護の推進と連携強化

(3) 在宅緩和ケアの推進

(4) 在宅医療に携わる人材の育成

(5) 在宅医療推進モデルの構築

3 地域住民への在宅医療の普及啓発

市町等を主体とした住民向け普及啓発事業の実施

在宅医療関連施策の実施状況

(施策の基本的方向)

1 在宅医療推進体制の整備 医療と介護の連携強化

(具体的な施策)

○ 地域の在宅医療・介護スタッフが一堂に会する『多職種合同研修』

[目的]

- ・在宅でのチーム医療の推進
- ・多職種グループワーク等を通じた顔の見える関係づくり、連携ノウハウの強化

[内容]

(平成24年度)

- ・郡市医師会、歯科医師会、薬剤師会等の推薦を受けた、地域の在宅ケア体制整備のリード役を「地域リーダー」として選定
- ・地域単位での多職種合同研修の実践に向けた「地域リーダー研修」を実施

(平成25年度)

- ・県健康福祉センターと市町(地域包括支援センター)が、地域リーダーとの間で多職種合同研修を企画・調整
- ・市町単位(複数市町合同あり)で、地域の在宅医療・介護スタッフがグループワーク等を通じて連携を深める多職種合同研修を実施



[実施状況・計画] 平成25年度 16回開催(全市町が参画)

(具体的な施策)

○ 市町単位での在宅医療・介護の連携強化

[目的]

- ・市町と郡市医師会・歯科医師会・薬剤師会等関係機関との連携による、
地域の実情に応じた在宅ケア体制整備を支援

[内容]

- ・市町ごとに、医療・介護の連携強化を図るコーディネーター(保健師または看護師)を配置・設定
- ・コーディネーターが関係機関と連携し、地域の実情に合わせて、下記①～⑤を実践
(県から市町に対して、コーディネーター配置や各種事業実施に係る経費を補助)

- ①地域課題への対応を検討する会議
- ②地域包括支援センターにおける医療・介護サービスの調整
- ③地域の医療・介護スタッフが一堂に会する多職種合同研修
- ④住民を対象とした在宅ケアに関する普及啓発活動
- ⑤その他(地域の資源・課題把握アンケートなど)

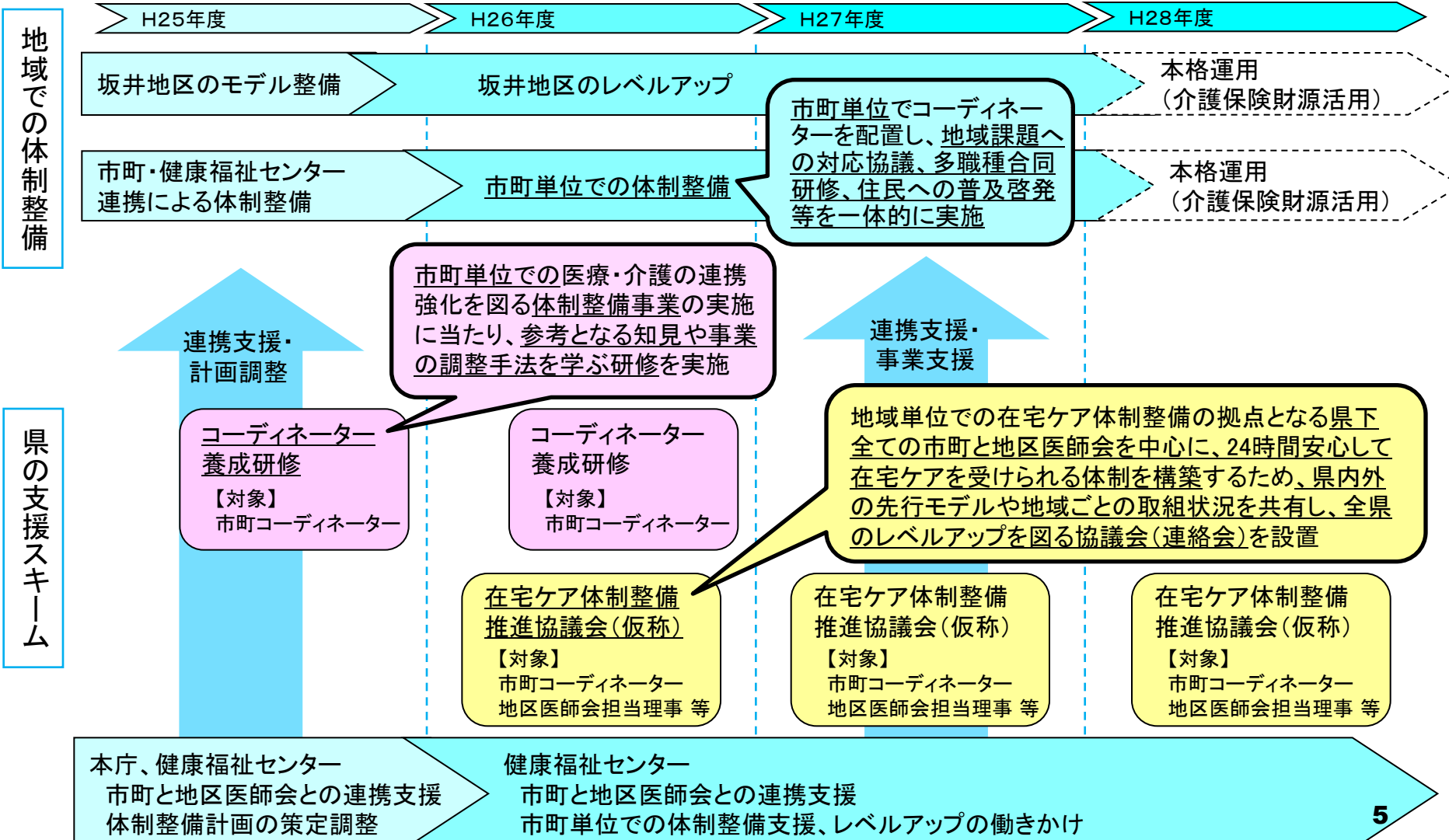
[実施状況・計画]

- 平成24年10月～ 坂井地区(モデル実施)
- 平成25年10月～ 大野市
- 平成26年度～ 全市町



市町単位での在宅ケア体制整備と県の支援スキーム(計画)

- ◎坂井地区の先行モデルを活かし、平成26年度から全市町で、県補助事業を活用した在宅ケア体制整備を実施
- ◎市町ごとの体制整備を支援するため、県による連携調整支援や参考となる知見を共有する場づくりを並行実施



(施策の基本的方向)

2 在宅医療環境の整備

(1) 在宅医療のバックアップ体制の充実

(具体的な施策)

○ 地区医師会等による医療機関相互の連携強化

[目的]

- ・地域の医療機関相互の連携強化(病診連携、診診連携等)

[内容]

(平成20年度～25年度)

- ・郡市医師会等を実施主体とする「ふくい在宅あんしんネット」の構築

↓ 継続・拡充

(平成25年度～27年度)

- ・「市町単位での体制整備事業」(前述)を活用した医療連携強化

[実施状況・計画]

- ・県内9か所にて「ふくい在宅あんしんネット」事業を実施

H20～22 坂井地区医師会、高浜病院

H21～23 武生医師会、丹生郡医師会、鯖江市医師会、
市立敦賀病院、福井社会保険病院

H22～24 福井市医師会

H23～25 福井第一医師会

- ・地域単位で、主治医・副主治医制、急変時受入病院登録制、在宅医療実施機関マップ、地域包括エリアごとの医療相談等に対応する地域担当医制などの取組みが実施・検討されている

「病気になっても
住み慣れた家で過ごしたい!」
どんな思いをお持ちの方へ・・・
丹生郡医師会 越前町在宅ケアネット
が安心できる在宅医療をご提供します

「在宅ケアネットって・・・」
在宅医療も看護師も安心しておこなって医療の助けになれる
「医療」の壁を壊すことで、高齢者の暮らしをより安心に
にすることが出来るようになります。

まずはご相談・お電話ください

お問い合わせは
電話 0778-36-1000 Fax 0778-36-1151
丹生郡医師会「越前町在宅ケアネット」
〒916-0215 福井県丹生郡越前町106-44 |
越前町国民健康保険病院 医務 丹生郡医師会在宅医療コーディネーター事業運営委員会

(施策の基本的方向)

2 在宅医療環境の整備

(2) 訪問看護の推進と連携強化

(具体的な施策)

○ 訪問看護の実態調査および人材育成事業

[目的]

- ・訪問看護の課題把握・今後の方向性の検討
- ・質の高い看護サービスを提供できる訪問看護師の育成

[内容]

- ・訪問看護推進協議会と連携した実態調査・人材育成事業
訪問看護の普及状況や対象者の状況、看護内容等に関するアンケート調査
訪問看護ステーションの管理者向け研修(経営、労務管理等)
eラーニングを活用した訪問看護師の養成講習会
(訪問看護に従事または従事しようとする看護職員、
訪問看護を学びたい看護職員を対象)
退院支援・地域連携に関する知識を習得する
看看連携－退院支援研修
- ・地域医療再生基金(H25-27)による人材育成の強化
訪問看護ステーション等での2か月間のトライアル雇用
による実践ノウハウ習得および新規就業推進



[実施状況・計画]

- ・訪問看護推進協議会において、受講者のニーズ、
訪問看護の実態に応じた研修事業を実施・継続
- ・25年11月からトライアル雇用開始



(施策の基本的方向)

2 在宅医療環境の整備

(3) 在宅緩和ケアの推進

(具体的な施策)

○ がん在宅緩和ケア地域連携クリティカルパスの普及

[目的]

- ・適切な在宅緩和ケアを提供するための体制整備

[内容]

- ・がん在宅緩和ケア地域連携クリティカルパスの県下全域での普及を推進

平成24年度

福井市、坂井地区、敦賀市(※がん拠点病院がある地域)にて、パスをモデル運用

平成25年度

パス運用を丹南地区に拡大

(中核の市中病院が多くある地域でのパス活用について調整・検討)

平成26年度

丹南地域でのパスの活用状況を反映し、奥越・若狭地域に順次パス運用を調整(拠点病院から一定距離がある地域でのパス活用について調整・検討)

[実施状況・計画]

- ・パス運用実績

平成24年度 8事例

(H24年度の新規使用事例件数)

平成25年度 10事例

(H25.4～H26.2の新規使用事例件数)



(施策の基本的方向)

2 在宅医療環境の整備

(4) 在宅医療に携わる人材の育成

(具体的な施策)

○ 職種団体と連携した在宅医療の実践型研修

[目的]

- ・在宅医療実践の動機付けおよび実践スキル・連携ノウハウの向上

[内容]

- ・職種団体ごとに、在宅医療実践に際して必要となるテーマを決定し、座学および実技を交えた研修事業を実施

医師向け「プライマリ・ケア研修」(医師会委託)

歯科衛生士向け「歯科衛生士研修」(歯科医師会委託)

薬剤師向け「訪問指導薬剤師研修」(薬剤師会委託)

ケアマネ向け「地域ケアマネジメント研修」(県ケアマネ協会委託)

看護師向け ※前述のとおり

栄養士向け「訪問栄養指導研修」(県栄養士会委託)

[実施状況・計画]

- ・平成25年度の研修テーマ

プライマリ・ケア研修 → 在宅医療総論、口腔ケア・栄養摂取

歯科衛生士研修 → 在宅患者とのコミュニケーション、訪問診療機材の取扱い 等

訪問指導薬剤師研修 → 癌性疼痛管理、無菌調剤技術 等

地域ケアマネジメント研修 → 認知症の支援、嚥下障害へのアプローチ 等

訪問栄養指導研修 → 在宅栄養管理、在宅栄養サポートチームに必要な技能 等



(施策の基本的方向)

2 在宅医療環境の整備

(5) 在宅医療推進モデルの構築

(ジェロントロジー共同研究、大学連携リーグ連携研究推進事業等)

(具体的な施策)

○ 坂井地区における在宅ケア体制モデルの構築

[目的]

- ・市町を主体とした在宅ケア体制整備のモデルづくり

[内容]

- ・坂井地区において、市町と地区医師会を中心とした体制モデルを構築

平成24年度

「在宅ケア将来モデル推進協議会」立上げ

副主治医・地区病院による在宅医バックアップ体制整備

出前講座、普及啓発ツール開発による住民向け普及啓発

平成25年度

在宅医育成のための同行訪問研修の実施

多職種間での情報共有の強化(ITシステム運用、多職種研修)

在宅療養者の生活支援を担うボランティアポイント制度の拡充

[実施状況・計画]

平成26年度

「地域単位での生活支援モデルの整備」など、

在宅ケア体制のレベルアップを図る



(施策の基本的方向)

3 地域住民への在宅医療の普及啓発 市町等を主体とした住民向け普及啓発事業の実施

(具体的な施策)

○ 市町を主体とした住民向け出前講座・講習会の実施

[目的]

- ・在宅医療・介護サービスの内容や在宅ケアの体験談等の紹介による、地域住民の在宅ケアに対する疑問や不安の解消・軽減

[内容]

- ・市町全域の住民を対象としたシンポジウム、民生委員等を対象とした講習会、集落単位での出前講座など、市町の状況に合わせた普及啓発活動
 - (講師) 地域の在宅医、訪問看護師、薬剤師 など
 - (内容) 各職種が提供できるサービス内容・事例の紹介
在宅ケアの相談窓口(地域包括)の紹介
地域住民による在宅ケア体験談の発表 など

[実施状況・計画]

- ・普及啓発活動実績
 - 平成24年度 23回開催、1,439人参加
 - 平成25年度 45回開催、2,426人参加

